



## IP 盗難

- [IP 盗難の概要 \(1 ページ\)](#)
- [IP 盗難の設定 \(GUI\) \(2 ページ\)](#)
- [IP 盗難の設定 \(2 ページ\)](#)
- [IP 盗難除外タイマーの設定 \(2 ページ\)](#)
- [IP 盗難設定の確認 \(3 ページ\)](#)

## IP 盗難の概要

IP 盗難機能は、すでに別のデバイスに割り当てられている IP アドレスが使用されないようにします。2つのワイヤレスクライアントが同じ IP アドレスを使用していることがコントローラによって検出された場合、コントローラは、優先順位が低い方のクライアントを IP 盗難者であると宣言し、他方のクライアントが継続できるようにします。ブロックリストが有効になっている場合、そのクライアントが除外リストに登録され、追放されます。

コントローラでは、IP 盗難機能がデフォルトで有効になっています。クライアント（データベース内の新規および既存のクライアント）の優先順位レベルも IP 盗難の報告に使用されます。優先順位レベルは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)、Address Resolution Protocol (ARP)、データ収集（クライアントがどの IP アドレスを使用しているかを示す IP データパケットを調べる）などの学習タイプまたは学習ソースです。有線クライアントは、常に他よりも高い優先順位レベルになります。ワイヤレスクライアントが有線 IP の盗難を試みると、そのクライアントは盗難者であると宣言されます。

IPv4 クライアントの優先順位は次のとおりです。

1. DHCPv4
2. ARP
3. データ パケット

IPv6 クライアントの優先順位は次のとおりです。

1. DHCPv6
2. NDP

## 3. データ パケット



(注) 静的な有線クライアントは、DHCP よりも優先順位が高くなります。

## IP 盗難の設定 (GUI)

### 手順

- ステップ1 [Configuration] > [Security] > [Wireless Protection Policies] > [Client Exclusion Policies] を選択します。
- ステップ2 [IP Theft or IP Reuse] チェックボックスをオンにします。
- ステップ3 [Apply] をクリックします。

## IP 盗難の設定

IP 盗難機能を設定するには、次の手順に従います。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	<b>wireless wps client-exclusion ip-theft</b> 例： Device(config)# wireless wps client-exclusion ip-theft	クライアント除外ポリシーを設定します。

## IP 盗難除外タイマーの設定

IP 盗難除外タイマーを設定するには、次の手順に従います。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>wireless profile policy profile-policy</b> 例： Device(config)# wireless profile policy default-policy-profile	WLAN ポリシー プロファイルを設定し、ワイヤレス ポリシー コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>exclusionlist timeout time-in-seconds</b> 例： Device(config-wireless-policy)# exclusionlist timeout 5	タイムアウトを秒単位で指定します。有効な範囲は 0 ~ 2147483647 です。タイムアウトなしの場合は 0 を入力します。

## IP 盗難設定の確認

IP 盗難機能が有効になっているかどうかを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show wireless wps summary
```

```
Client Exclusion Policy
Excessive 802.11-association failures : Enabled
Excessive 802.11-authentication failures: Enabled
Excessive 802.1x-authentication : Enabled
IP-theft : Enabled
Excessive Web authentication failure : Enabled
Cids Shun failure : Enabled
Misconfiguration failure : Enabled
Failed Qos Policy : Enabled
Failed Epm : Enabled
```

IP 盗難機能に関するその他の詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

```
Device# show wireless client summary
```

```
Number of Local Clients: 1
```

MAC Address	AP Name	WLAN State	Protocol Method	Role
000b.bbb1.0001	SimAP-1	2 Run	11a None	Local

```
Number of Excluded Clients: 1
```

MAC Address	AP Name	WLAN State	Protocol Method
10da.4320.cce9	charlie2	2 Excluded	11ac None

```
Device# show wireless device-tracking database ip
```

IP	VLAN	STATE	DISCOVERY	MAC
20.20.20.2	20	Reachable	Local	001e.14cc.cbff
20.20.20.6	20	Reachable	IPv4 DHCP	000b.bbb1.0001

```
Device# show wireless exclusionlist
```

```
Excluded Clients
```

MAC Address	Description	Exclusion Reason	Time Remaining
10da.4320.cce9		IP address theft	59

```
Device# show wireless exclusionlist client mac 12da.4820.cce9 detail
```

```
Client State : Excluded
Client MAC Address : 12da.4820.cce9
Client IPv4 Address: 20.20.20.6
Client IPv6 Address: N/A
Client Username: N/A
Exclusion Reason : IP address theft
Authentication Method : None
Protocol: 802.11ac
AP MAC Address : 58ac.780e.08f0
AP Name: charlie2
AP slot : 1
Wireless LAN Id : 2
Wireless LAN Name: mhe-ewlc
VLAN Id : 20
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。